



「ふるさと・坂祝学習」真っ最中

【小学校】 6年生 多文化共生



12月2日(月)に6年生では、美濃加茂市国際交流協会から招いた中国、リトアニア、フランス、アメリカ、ブラジル、ベトナム出身の講師からそれぞれの国の様子を聞きました。6つの部屋に分かれて各クラスのグループは2つの国の話を聞きました。



アメリカの食べ物はいろんな国の食べ物がもっていること、フランスにもいい面とよくない面があることなど各国の様子を聞きました。その後、子どもたちからは、講師の方に向けた坂祝の紹介発表がありました。坂祝の紹介に当たっては、ふるさと会や、兼松悟さんから聞いたこと、また今までの学習してきたことをプレゼンで紹介したり、クイズを出して講師の方にも答えてもらったりしました。講師の方からは「初めて坂祝に来たけれど坂祝のことを知れてよかった。」などの感想をもらいました。自信をもって紹介する姿から「だいすき SAKAHOGI」の気持ちが表われていました。

～子どもの感想から～

どの国にもいいところとよくないところがあることを知った。フランス人から見た日本は、食べ物がおいしい、町がきれい、礼儀正しいということがあげられた。日本人でうれしいと思った。

2年生 算数 九九

2年生では、今、九九の暗唱をがんばっています。九九は今後の計算の基礎となります。それだけに学校でも習得に力をいれています。先生方のお手伝いとしてボランティアも合格確認の支援に入っています。子どもたちが先生やボランティアの前で唱えて、合格したら印をもらいます。



1の段から9の段まで順番に言うだけではなく、9の段から1の段へも唱え、それが合格すると先生から言われたランダムな九九を言います。CSとして初めての取り組みでしたが、ボランティアとして、菅沼誠嗣さん、浦田伸司さん、安西達彦さん、宮内聡樹さん、梅田千枝子さん、森喜三子さん、佐伯栄美子さん、長谷川清子さん、長谷川ますみさん、石原恵子さんが登録参加をしていただきました。また教育課からも中村良一さん、高田恵里子さん、宮内智鶴子さん、前田加代子さんなど大勢の方々の参加がありました。参加者の方々からは子どもたちから「元気をもらえる。」と、ありがたい言葉をいただいています。子どもたちはがんばっていますのでお家でも応援をお願いします。

6年生 家庭科 ナップザックづくり



6年生の家庭科で、ナップザックづくりをしました。ボランティアの松田富子さん、小島春海さん、永田郁子さん、高田恵里子さんの協力を得ながらすてきなナップザックが仕上がりました。制作の手順の途中でやり方がわからなくなったり、ミシンが故障したりした時は手助けをしていただくことで時間が有効に使えました。

1月には5年生がミシンを使ったエプロン制作を始めます。5年生は1クラス35人と多人数です。もし、お手伝いをしていただける方がおられましたら、教育課（66-2409）宮内までご連絡をいただけるとありがたいです。よろしくお願いします。

5年生 日本プレス工業見学

5年生の総合的な学習の時間で、12月12日（木）に日本プレス工業の見学をしました。乗り物工場の関連会社として部品を丁寧に作っている様子を見たり、日本プレス工業の高い技術力を知ったりすることができました。



【多文化共生委員会】 放課後学習会・取り出し指導

坂祝町には外国人のお友達が約7%います。日本で生まれ育ったお友達が大変増えてきましたが、それでも母国語と日本語の両方を学ぶ上で困り感があります。そこで、国際教室での取り出しや、放課後学習会、また「すまいるひろば」による学習や日本文化の体験が行われています。

どちらも日本人のお友達が増えて仲よくしています。2学期最後の学習会が12月16日（月）にありました。ボランティアの先生方のサポートをうけながら2学期のまとめをがんばりました。3学期は1月20日、2月3日と17日、3月3日、3月17日の5回を予定しています。



【地域で引き継がれる伝統文化】 地域で育つ「だいすき SAKAHOGI」

【勝山祭保存会】 もちつき大会

12月7日（土）に、勝山祭保存会の方々（代表：小島順三さん）による「もちつき大会」が行われました。これまでもち米の田植えから稲刈りを子どもたちと行ってきました。当日は、大勢の地域の方々の見守りのもとでもちつきが行われました。育てる経験を通して米のありがたみを知る機会にもなりました。勝山在住の外国籍の兄弟も初めての栗おこわやもちを食べ、



また、花もちを作って日本ならではの文化を経験することができました。花もちは、小中学校や中央公民館にも飾られました。地域の大人から子どもたちへ昔ながらの古き伝統が引き継がれています。

